

全国国立大学附属学校PTA連合会 平成29年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	奈良教育大学附属小学校		
PTA名称	奈良教育大学附属小学校PTA	会長名	朝熊仁司
応募部門	事業部門		
事例名称	山焼きを見る会の運営		

当校は若草山から程近い絶好の環境にあります。その環境を活かし、全国的に知られた若草山の山焼きを学校から眺めたい、という思いからスタートした「山焼きを見る会」も10年ほど続いて実施されています。お父さんの会である「たかまどの会」と卒業された保護者の方が中心の「附小教育を支える会」とPTA会員からのボランティアを募り、運営しています。

「山焼きを見る会」とは言うものの、運営のメインはむしろ点火までの活動です。まずは、凧作り。体育館でゴミ袋、ストロー、タコ糸を使って凧を作り、運動場で飛ばして遊びました。さらには、餅つき大会。近年、衛生面から中止に追い込まれる学校も多いと聞きますが、保健所の指導を受けた上で衛生面には特に配慮をして、子ども達も餅搗きに参加し、きな粉としょうゆで味付けをして振る舞いを実施しました。模擬店では、豚汁、牛乳パックを用いたホットドック作り、ワッフルやホットドリンクなど子どもも大人も楽しめるものをご提供しました。真冬の寒い一日でしたが体も心も暖まります。今年度からの新企画は、凧作りとホットドック作りでしたがいずれも大好評でした。

そして、学校から見る格別な山焼き…。

長年大きくスタイルを変えることなく、安全面・衛生面に配慮しながら、在校生のみならず、卒業生の保護者の方、教職員の方も運営に関わる中で、親子の絆作り、先輩保護者から在校生保護者への良き伝統の継承、さらには奈良の伝統行事の持つ意味を学ぶ場として毎年多数の児童及び保護者の参加があります。今回も232名の参加がありました。今後も若草山の山焼きが続く限り、この素晴らしい行事を奈良教育大学附属小学校の伝統行事として脈々と受け継いでいきたいと思えます。



凧製作中（親子の絆深まります）



餅つき（お父さん達大活躍）



ホットドック作り



一生懸命餅を丸めます



心も体も暖まる模擬店



大迫力の山焼き！